

平成30年度の取組み

～「小さな世界都市 -Local&Global City-」～
創造へのダッシュ

豊岡市

事 業 一 覧

No.	事業名	担当課
1	移住の不安を解消 ～豊岡市移住促進支援補助金～	環境経済課
2	「豊岡靴」のブランド価値を向上 ～靴UIターン促進～	環境経済課
3	ICT やIoT を活用し省力化及びコスト削減 ～スマート農業推進事業～	農林水産課
4	オーストラリアへ販路開拓 ～コウノトリ育むお米海外販売推進～	農林水産課
5	大学誘致に向け体制を強化 ～専門職大学の誘致～	大交流課
6	若者のUIターンを促進 ～アーティスト・クリエイター移住促進事業～	UIターン戦略室
7	ふるさとのこと、自分のことを英語で語る力を ～英語教育推進～	こども教育課
8	世話やきな人がまちじゅうに ～ボランティア仲人養成～	ハートリーフ戦略室
9	生きがい創造学院生の移転と中心市街地の活性化を目指して ～生涯学習サロン整備～	生涯学習課
10	冒険学習活動の拠点として ～植村直己冒険館の機能強化～	生涯学習課
11	オリンピックの合宿誘致促進 ～城崎ボートセンターの備品整備～	スポーツ振興課
12	スポーツによる大交流を推進 ～円山川運動公園の移転整備～	スポーツ振興課
13	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまちへ ～高齢者福祉施策の充実～	高年介護課、健康増進課
14	歩いて暮らすまちづくりの推進 ～健康ポイント制度～	健康増進課
15	さらなる大交流の実現へ ～観光の振興～	大交流課
16	出石地域の景観形成と安全確保へ ～出石地区無電柱化整備～	建設課
17	女性に選ばれるまちへ ～子育て中の女性の就労促進～	環境経済課

18	保育士と保育の受け皿確保へ ～待機児童解消対策の検討～	こども育成課
19	豊岡の宝物を見に来てください ～歴史博物館リニューアル～	教育総務課文化財室
20	学校における働き方改革を推進 ～校務支援システムの導入～	こども教育課
21	地域の特色を生かしまちを活性化 ～城崎振興局の取組み～	城崎振興局地域振興課
22	地域の特色を生かしまちを活性化 ～竹野振興局の取組み～	竹野振興局地域振興課
23	地域の特色を生かしまちを活性化 ～日高振興局の取組み～	日高振興局地域振興課
24	地域の特色を生かしまちを活性化 ～出石振興局の取組み～	出石振興局地域振興課
25	芸術文化でイメージアップ ～永楽館歌舞伎～	出石振興局地域振興課
26	地域の特色を生かしまちを活性化 ～但東振興局の取組み～	但東振興局地域振興課

No. 1	移住の不安を解消 ～豊岡市移住促進支援補助金～	30年度 予算額	300 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本市への移住を検討する者が、実際に本市を訪れ、本市を知り、体験して、移住への不安解消や移住後の暮らしのイメージを膨らませることにより、移住意欲を向上させ、移住を促進する。

2 事業内容

本市への移住を目的として住居若しくは仕事を探す活動又は市の文化、歴史、風土、気候等を知るための活動のために市を訪れる者が、市内に所在する宿泊施設を利用する際の宿泊費用の一部を補助する。

【補助率等】

- ・ 宿泊費用のうち、大人（16歳以上の者をいう。）1人3,000円、こども（6歳以上15歳以下の者をいう。）1人1,500円を上限とする宿泊費用の一部。

※補助金の交付は、1人につき一年度当たり4泊を限度とする。

3 事業期間

平成30年度～平成32年度

4 事業主体

豊岡市

5 予算額（補助率・負担率等）

補助金300千円

6 その他

豊岡市移住促進支援補助金の創設に伴い、田舎暮らし体験施設（但東町中山）は廃止する。

No. 2	「豊岡鞆」のブランド価値を向上 ～鞆UIターン促進～	30年度 予算額	2,200 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------------------	-------------	----------	-------------------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡鞆」のブランド価値向上のための取組みを支援することで、「鞆と言えば豊岡」を国内外に認知させ、販路を確保することにより鞆産業の振興と地域経済の活性化を図る。

2 事業内容

兵庫県鞆工業組合が「豊岡鞆」ブランドの価値向上のために実施する事業に対して補助金により支援を行う。

具体的な事業は、鞆の素材に井原デニムを使用することによる商品価値の向上や眼鏡産地鯖江のチタン加工技術を活用した新商品開発等、豊岡鞆ブランドの一商品としての豊岡財布の商品開発及び量産化の検討、インターネット販売、国内外での販路開拓（特に香港などアジア諸国での販路の開拓を検討）、生産性を向上させるためのAIやIoT化を含む環境整備の検討などを行う。

3 事業期間

平成19年度～平成30年度

4 事業主体

兵庫県鞆工業組合

5 予算額（補助率・負担率等）

2,200千円



担当課名【環境経済課】0796-23-4480

No. 3	ICT や IoT を活用し省力化及びコスト削減 ～スマート農業推進事業～	30 年度 予算額	10,534 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------------------------------	--------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国では、ICT（情報技術）や IoT（モノのインターネット）を活用し、省力化や高品質生産等の農業を目指す「スマート農業」が研究されている。本市においても、これらの技術を活用した、農家所得の向上や後継者対策の課題に取り組む必要がある。

コウノトリ育む農法の面積拡大と品質向上のため、センシング技術による生育初期の水管理の省力化と生産管理のデータ化を行う。

また、水稻低コスト栽培技術の実証を行い、コスト削減による農家所得の向上を目指す。

※ センシング技術：センサー（感知器）などを使用してさまざまな情報を計測・数値化する技術の総称

2 事業内容

(1) 水田センサーによる水管理の省力化実証

（水田センサー設置 4 農家 60 基）

コウノトリ育む農法（無農薬）に取り組む農家は、特に4月から6月の間の水田水管理に多くの時間と労力を要している。このため、水位、水温及び地温のセンサーを水田に設置して、通信回線を介してスマートフォン等で確認できるようにすることにより、水管理の省力化について実証する。

(2) 高密度播種及び^{たんすいちよくは}湛水直播による水稻低コスト栽培技術の実証

（高密度播種栽培実証 1 ha/農家×3 農家）

（湛水直播栽培実証 1 ha/農家×3 農家）

田植え作業を省力化、低コスト化することにより農家所得が向上するように、通常より種籾を多く播種して苗箱等の資材コストを低減する「高密度播種」、種籾を水田に直接点播し、育苗に係るコストを低減する「^{たんすいちよくは}湛水直播」技術の実証を行う。

3 事業期間

平成 30 年度～平成 31 年度

4 予算額

ア 8,051 千円（実証事業に係る事務費及び実証業務委託料）

イ 2,483 千円（実証事業に係る事務費及び実証業務委託料）

5 委託先（予定）

ア KDD I 株式会社

イ 株式会社近畿東海クボタ

水田センサーによる水管理の省力化実証

〔水田センサー、管理システム（アプリ）〕



目的

コウノトリ育む農法無農薬栽培での実証を行い、効果を検証する。

同農法では、深水管理による抑草が重要なポイントになるため、この技術により深水管理の徹底と省力化を図り、無農薬栽培の面積拡大を目指す。

水稻低コスト技術の実証

〔高密度播種、湛水直播、管理システム（アプリ）〕

【高密度播種】

使用苗数が従来の1/2~1/3に削減され、苗継ぎ回数も減り、省力化、低コスト化が図れる。



田植え 1 往復後の苗残量状況
※残量が多い⇒使用苗数が少ない⇒低コスト化

【湛水直播】

水田に直接種子を播種する。育苗作業の必要がなく、省力化、低コスト化が図れる。



代掻き後の水田に種籾を播く、湛水直播

目的

各種技術を導入するための実証（試用）を行う。

省力化による規模拡大の実現と育苗コスト低減による農家所得の向上を目指す。

水稻栽培コスト低減技術について

高密度播種

- 育苗箱当たりの播種量 → 慣行の約2倍
- 育苗期間 → 慣行よりも短期間
- 葉齢、草丈 → 慣行よりも若苗
- 植付け → 慣行と作業は同じ
- 育苗、移植後の管理 → 特殊な技術は不要

湛水直播

- 播種、育苗作業 → 不要
- 労働時間 → 慣行よりも2割減
- 生産費 → 慣行よりも1割減
- ほ場の管理 → 慣行と同様に耕起・代かき
- 収量 → 慣行と同様か1割減

水稻栽培コスト低減技術の比較

	慣行(マット苗)	高密度播種	湛水直播	鉄コーティング湛水直播
播種	80~120g/箱	250g/箱	-	鉄コーティング処理
種子	2.5~3.5kg/10a	2.5~3.5kg/10a	2.5~3.5kg/10a	2.5~3.5kg/10a
箱数	17~24箱/10a	10箱/10a	-	-
育苗	4.5~5葉	2.0~2.3葉	-	-
育苗期間	30~35日	15~20日	-	-
苗代面積	7~9㎡/10a	4㎡/10a	-	-
代掻き	1回	1回	2回推奨	2回推奨
移植	60株/坪	45株/坪	-	-
コスト低減効果	※H25広島県での実証結果→	△5,608円/10a	※H25栃木県での実証結果→	△1,615円/10a
田植機	通常のまま	一部取替又は、アタッチメントでの対応可	専用機	専用機

No. 4	オーストラリアへ販路開拓 ～コウノトリ育むお米海外販売推進～	30年度 予算額	11,220 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 現状

「コウノトリ育むお米」は、生産者、J A、行政が連携した推進により年々生産量が増加してきたが、高品質で高価格という特性上、日本国内での販売には限界がある。

J Aたじまとの協働により海外マーケットへの積極的な参入を進め、シンガポール、アメリカ、香港への輸出を展開しているが、販売先及び販売量を拡大する必要がある。

「コウノトリ育むお米」輸出状況（平成 30 年 1 月末現在）

輸出先	販売店舗等	備考
香 港	PARKnSHOP (店頭販売)	平成 29 年5月～
	三代目俵屋玄兵衛 (インターネット販売)	平成 29 年5月～
ア メ リ カ	brushstroke (日本食レストラン／NY)	平成 28 年 11 月～
	TOIRO (店頭・インターネット販売／LA)	平成 29 年 12 月～
	三代目俵屋玄兵衛 (店頭販売／ハワイ)	平成 29 年9月～
シンガポール	明治屋シンガポール (全農フェアでの販売)	平成 28 年度～
	伊勢丹スコッツ店 (JETRO 事業による試験販売)	平成 28 年1月

※ ミラノ国際博覧会(イタリア)除く。

輸出数量（平成 30 年 1 月末現在）

	シンガポール	アメリカ	香港	計
平成 27 年度	150kg	-	-	150kg
平成 28 年度	300kg	1,200kg	-	1,500kg
平成 29 年度	600kg	2,693kg	3,530kg	6,823kg
計	1,050kg	3,893kg	3,530kg	8,473kg

2 事業目的（趣旨）

海外市場において、コウノトリ育むお米の背景にあるコウノトリ野生復帰を推進する豊岡全体の情報発信を図り、国内外に認められた真のブランド米としての確立を目指す。

3 事業内容

- (1) 海外での優位かつ安定した販売網を確立するため、ニューヨーク及びロサンゼルスで開催される「日本食レストランエキスポ(商談会)」に出展するとともに、ニューヨークの取扱店と連携した情報発信を行う。
- (2) 平成 29 年から輸出が始まった香港で販売プロモーションを展開する。
- (3) 輸出の可能性が見込まれるオーストラリアの販路を開拓するため、「Fine Food AUSTRALIA (実需者商談会)」に出展する。

4 事業期間

平成 26 年度～

5 事業主体

豊岡市

6 予算額（補助率・負担率等）

11,220 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

- (1) 商談会参加費、販売イベント開催費 6,670 千円
- (2) プロモーション業務委託費 4,550 千円

7 今後の取組み

輸出先	取組内容	H30 当初予算額
アメリカ	① 日本色レストランエキスポ(商談会) 出展(10月、ニューヨーク・ロサンゼルス) ② 情報発信イベント (10月、ニューヨークの和食レストラン)	職員渡航費、出展料、 出展等サポート業務 委託費 (3,600 千円)
香港	① パークンショップ(高級スーパー)での 販売プロモーションイベント(8、10月)	職員渡航費 (560 千円)
オーストラリア	① 「ファイン フード オーストラリア(実需者商談会)」出展(9月)	職員渡航費、出展料、 出展サポート業務委 託費 (2,900 千円)

《参考：アメリカでの販売状況》

1 TOIRO（平成 29 年 12 月～）

現地のアメリカ人に好評。特に自然環境を保全しながら経済に結びつけている「エコシステム」に関心が大。同店では小売りのほかインターネット販売、土鍋を使った料理教室でも使用されており、商品を扱うスタッフと消費者との距離が近く、商品背景のコウノトリ野生復帰の取組みを伝えやすい。

(1) 輸出数量

種類	数量
玄米	360.0kg
精米	52.5kg
計	412.5 kg

※これまで1回のみ納品。今後も継続予定



無農薬 2kg

(2) 販売価格

区分	価格
300g(減農薬)	9 \$
450g(無農薬)	12 \$
2 kg(無農薬)	38 \$

※インターネット調べ

2 三代目俵屋玄兵衛（平成 29 年 9 月～）

対面販売の米穀店。量り売りにも対応。現地在住者、観光客に好評。

(1) 輸出数量

種類	数量
玄米	180kg

※これまで1回のみ納品。

(2) 販売価格

不明



日本食レストランエキスポ
(ニューヨーク)



高級スーパーでの販売プロモーション
(香港)

No. 5	大学誘致に向け体制を強化 ～専門職大学の誘致～	30年度 予算額	9,874 千 円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------	-------------	--------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

人口減少が著しい但馬地域において、地元産業界からニーズのある観光分野等における専門人材を育成する高等教育機関として専門職大学を誘致し、地域の若者の定住のみならず、全国や海外から若者を呼び込み定着を図る。

2 事業内容

兵庫県における専門職大学設置に向けた検討に対する支援を行うとともに、実習の受入れ先の調整など兵庫県のサポートを行う。

(1) 「専門職大学構想検討会」の開催（兵庫県）

ア 概要

(ア) 専門職大学のあり方や構想の具体化に向けた課題への対応について、有識者より指導助言を受けることを目的に設置（年度内3回）

(イ) 第2回専門職大学構想検討会（H29. 12. 25 開催）

検討会における議論概要

- ① 専門職大学の方針について
- ② 養成すべき人材像について
- ③ カリキュラム等の具体化について
- ④ 留学生の受け入れについて ほか

(2) 体制の強化

ア 本市の支援

専門職大学の開設準備に向けた県の体制整備を支援するため、本市の職員2人を兵庫県に派遣した。（平成30年1月1日付け辞令交付）

(ア) 大学開設等の実務経験を有する者1名（任期付で新たに採用、本市での役職は環境経済部参事）

(イ) 主任級職員1名

イ 市の推進体制（平成30年度）

地元としての推進体制を強化・充実させるため、大交流課に「観光文化戦略室（専門職大学・アーティスト等誘致担当）」を設置する。

なお、県においても推進体制の強化が図られる予定。

3 事業期間

平成29年度～

4 事業主体

豊岡市

5 予算額

9,874 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（内訳）

- | | | |
|---|------------------------------|----------|
| ① | アドバイザー謝礼 | 3,600 千円 |
| ② | アドバイザー旅費 | 305 千円 |
| ③ | 専門職大学開設準備負担金 | 4,767 千円 |
| | ・専門職大学開設準備委員会の設置 | |
| | ・基本計画の策定に向けた調査 | |
| | ・先行ソフト事業（キックオフシンポジウム、プレカレッジ） | |
| ④ | 事務的経費 | 1,202 千円 |

《参考》

兵庫県の平成 30 年度予算及び本市の負担額

県が専門職大学構想推進事業費として、下記の項目を予算化し、本市が必要な額を負担する。

（ ）が本市負担額。

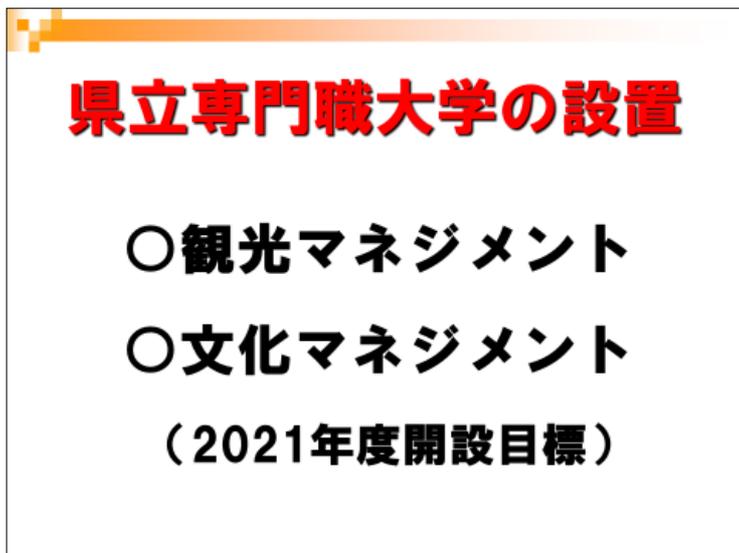
ア 開設準備委員会の設置・運営：1,607 千円（402 千円）

イ 基本計画策定に向けた調査：5,000 千円（2,500 千円）

ウ 先行ソフト事業：3,548 千円（1,774 千円）

エ 専門家の登用：6,400 千円（0 千円）

※本市は、アドバイザー費として別途 3,600 千円を予算化



担当課名【大交流課】0796-21-9016

No. 6	若者のU I ターンを促進 ～アーティスト・クリエイター移住促進事業～	30 年度 予算額	921 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------------------	--------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

アーティスト・クリエイターが市内に移住し、まちづくり等に関わることにより、若者が住む価値を感じるまちをつくり、もって若者のU I ターンを推進する。

2 事業内容

平成 29 年度に策定した移住促進戦略に基づき、平成 30 年度に次の事業を実施する。

- (1) 劇団「青年団」の江原駅周辺への移転に関する協議
- (2) アーティスト・クリエイターの創作支援の細部協議
- (3) 芸大、美大等における情報発信に関する協議
- (4) 「観光文化戦略室（専門職大学・アーティスト等誘致担当）」の設置

劇団の移転に合わせて、より多くの劇団員等が市内に移住するよう、住居、仕事、子育て支援等に関するきめ細やかな情報提供など移住支援を行う組織を大交流課内に設置した。

3 事業期間

平成 30 年度～

4 事業主体

豊岡市

5 予算額（補助率・負担率等）

921 千円

（内訳）

学識経験者、大学、劇団「青年団」協議等旅費 890 千円

事務費等 31 千円

《参考》

現在、以下の内容を柱としたアーティスト・クリエイター移住促進戦略を検討している。

- (1) アーティスト・クリエイターが創作しやすい環境づくり
 - ① 創作の場の確保支援

活用可能施設の紹介、市有施設提供の検討、空き店舗等開業支援補助金の紹介など
 - ② 創作活動のサポート

ディレクターの設置による創作、出展、市内での活動等の支援など

- (2) アーティスト・クリエイターが生活しやすい環境づくり
- ・ 住居、仕事（アルバイト等）、子育て支援策等に関する情報提供
ワンストップ相談窓口の設置、定住促進事業補助金の紹介など
- (3) アーティスト・クリエイターへの情報発信
- ・ 豊岡市の文化芸術関係事業の紹介
芸大、美大等における説明会の開催、文化と教育の先端自治体連合（仮称）による情報発信など



劇団「青年団」の移転と自身の移住を表明した平田オリザ氏

担当課名【大交流課】0796-21-9016

No. 7	ふるさとのこと、自分のことを英語で語る力を ～英語教育推進～	30年度 予算額	33,559 千 円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------	-------------	---------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

就学前及び9年間の系統性と連続性のある学習を通して、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域を確実に身に付け、中学校卒業時にはふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる力を身に付ける。

2 事業内容

- (1) 全ての小・中学校において、豊岡市小中一貫教育の柱の一つである英語教育を実施する。
 - ① 小学校1・2年生については「豊岡市英語カリキュラム」に則った英語教育を行う。
 - ② 小学校3～6年生・中学校については「学習指導要領」に則った英語教育を行う。
 - ③ 全ての小・中学校に外国語指導助手を配置し、担任と連携した授業を行う。
- (2) サマースクール（小学校1年生対象：5日間【*1回2時間を1講座とし、最大9講座】）、イングリッシュサマーキャンプ（中学校3年生対象：3日間）を実施する。
- (3) 豊岡市教員の英語の授業力向上を目的にした研修会を実施する。

3 事業期間

平成28年度～

4 事業主体

豊岡市

5 予算額（補助率・負担率等）

33,559千円（地方創生推進交付金
補助率：交付対象額の1/2）



担当課名【こども教育課】0796-23-1451

No. 8	世話やきな人がまちじゅうに ～ボランティア仲人養成～	30年度 予算額	1,267 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

一般市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数を増加させる。

2 事業内容

ボランティア仲人を養成し、活動を支援する。

(1) 「縁むすびさん」制度の流れ

- ① 縁むすびさん」の登録（公募してセミナー受講）
- ② 婚希望者に声かけ（匿名プロフィールの作成）
- ③ 相手探し（月に一度の情報交換会）
- ④ 見合いのセッティング（引き合わせ）
- ⑤ 交際サポート（成婚したら3万円のお礼）



縁むすびさんロゴマーク

(2) 平成30年度の特徴

引き合わせを促進するため、1件ごとに1,000円の報奨金を追加支給する。

※平成29年度の実績（2/14現在）

- ① 縁むすびさん 105人（男性38人、女性67人）
- ② 登録結婚希望者 77人（男性49人、女性28人）
- ③ 引き合わせ数 延べ30回
- ④ 交際発展 15組
- ⑤ 成婚数（婚約数） 1組

3 事業期間

平成29年度～

4 事業主体

豊岡市

5 予算額（補助率・負担率等）

1,267千円



No. 9	生きがい創造学院生の移転と中心 市街地の活性化を目指して ～生涯学習サロン整備～	30年度 予算額	282,640 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------------------------------------------------	-------------	------------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

通学困難者の増加などにより学院生の減少が進む但馬高齢者生きがい創造学院（以下「学院」という。）を、空き店舗の増加する中心市街地へ移転すると同時に、賑わいの創出を視野に入れた施設整備を検討してきた。

このたび、豊岡駅前の物件について、所有者と売買の合意に至ったことから、土地及び建物を取得し、施設の整備を行う。

2 全体事業内容

中心市街地に「高齢者の学びの拠点」を整備する。整備後は学院が移転し主な利用者となるが、夜間及び学院の休日には一般市民が利用することから、施設名を「生涯学習サロン」に改め、広く市民に生涯学習機会を提供していく予定である。

なお、整備を計画している建物には、学院以外にギャラリーや地域イベント、ワークショップなどの会場として利用可能な空間の整備を検討している。

(1) 内容

ア 豊岡市千代田町内の土地（宅地 478.10 m²）及び建物（鉄骨造 2 階建 713.41 m²）を取得したうえで改修し、生涯学習サロンとして整備する。

イ 整備後、学院が生涯学習サロンに移転し主な利用者となるが、夜間及び学院の休日には、広く市民に生涯学習機会を提供する。

ウ 生涯学習サロンには、学院以外にギャラリーや地域イベント、ワークショップなどの会場として利用可能な空間の整備を検討している。

3 事業期間

平成 30 年度～平成 31 年度（2 か年事業）

4 事業主体

豊岡市

5 全体事業費（補助率・負担率等）

363,595 千円（土地建物取得費 72,536 千円 施設整備費等 291,059 千円）

財源内訳（合併特例債 335,400 千円 一般財源 28,195 千円）

6 平成 30 年度予算

(1) 予算額

282,640 千円

(2) 事業内容

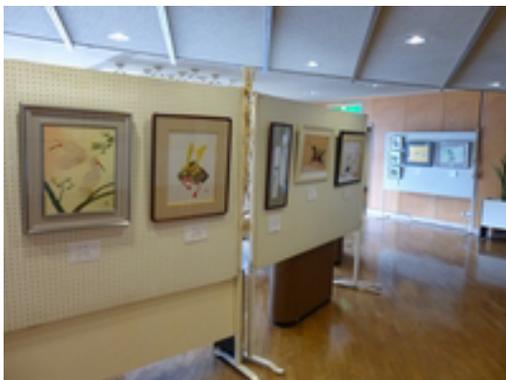
土地及び建物の購入、実施設計、改修工事、施工監理

7 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ・事業場所 豊岡市千代田町 109 番 3 外
- ・但馬高齢者生きがい創造学院が行う講座の内容 16 講座 353 人

陶芸	木彫	盆栽	麦わら	書道	表具	俳句	短歌
23 人	18 人	9 人	33 人	71 人	9 人	15 人	11 人
絵画	民謡	編み物	囲碁	写真	ダンス	パソコン	カラオケ
18 人	22 人	31 人	13 人	21 人	18 人	18 人	23 人

平成 29 年 4 月 1 日現在



担当課名【生涯学習課】0796-23-0341

No.10	冒険学習活動の拠点として ～植村直己冒険館の機能強化～	30年度 予算額	24,398 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

平成29年2月に策定した植村直己冒険館機能強化基本構想では、主に①施設の経年劣化対策、②氏の精神を伝える展示のマンネリ化解消、③冒険学習の拠点の実現を図ることとしている。

しかしながら、冒険学習については、市に特段のノウハウが無いことから、民間等のノウハウを導入

する必要がある。そこで、ソフト面の充実を中心に据え、一体的に施設改修や運営ができる企業等があるのか、民間パートナー導入の可能性を本年度調査した。

調査の結果、複数の企業・団体からパートナーとしての参画意欲が見られたことから、実施に向け事業化を図り、基本構想の実現を目指す。



2 事業内容

(1) 事業方式 PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）方式

当施設の改修、維持管理、運営等、民間の資金、経営能力及び技術的能力を最大限活用するとともに、施設を補強する民間提案施設整備が想定されることから、PFI方式が適切であると判断し、事業化を進める

(2) スケジュール

平成30年度 事業の実施方針公表、民間事業者募集要項の公表・募集

平成31年度 民間事業者の選定、事業契約等の締結

平成31年度～33年度 施設改修等

平成33年度夏（予定）リニューアルオープン

(3) 事業費等

ア 民間初期投資見込み 6億円程度

施設改修及び機能強化に係る施設整備分は、整備終了後市の公共施設として買戻し予定（財源 辺地債・植村直己顕彰基金を予定）

イ 予算の内容

・事業者選定支援業務 29,052千円（平成31年度分は債務負担行為予算）

業務内容 平成30年度 24,100千円

実施方針案作成、要求水準・公募条件・契約書案・基本協定書案の作成、事業者選定審査支援

平成31年度 4,952千円

契約締結に向けた詳細交渉

・事業者選定委員会運営 298千円

3 その他参考事項

- ・平成28年度 植村直己冒険館機能強化基本構想策定
- ・平成29年度 植村直己冒険館機能強化パートナー導入可能性調査



メモリアルウォール



クライミングウォール

担当課名【生涯学習課】0796-23-0341

No.11	オリンピックの合宿誘致促進 ～城崎ボートセンターの備品整備～	30年度 予算額	18,209 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> 拡大 継続
-------	-------------------------------------------------	-------------	-----------	-----------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

城崎ボートセンターは、市民におけるボート競技の拠点施設であり、全国大会等も定期的で開催されている。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けてフランス代表チーム等の事前・強化合宿の誘致促進における環境整備の一環として、必要な設備等を整備する。

2 事業内容

- (1) 競技用艇、オール購入（5艇）
- (2) トレーニング機器等購入（R P 3、エルゴメータ、ワットバイク、移動式ラック等）
- (3) 2,000mコース設置測量
- (4) 審判艇修理等

3 事業期間

平成30年度

4 事業主体

豊岡市

5 予算額

18,209千円（過疎債14,600千円）

(1) 内訳

- | | |
|---------------|----------|
| ① 競技用艇、オール購入費 | 13,500千円 |
| ② トレーニング機器等購入 | 3,000千円 |
| ③ 2,000m設置測量 | 1,100千円 |
| ④ 審判艇修理等 | 609千円 |

クォドルプル（4人漕ぎ）



ダブルスカル（2人漕ぎ）



【トピック】

昨年に引き続きボート日本代表強化合宿の受入れが決定！

昨年度に引き続き、東京 2020 オリンピックに向けたボート日本代表チームが、円山川城崎漕艇場で強化合宿を実施する。

1 チーム概要

- (1) 11月から続いた日本代表選考会を、3月26日に終え代表メンバーが決定した。
- (2) 東京 2020 オリンピックでのメダル獲得に向けた強化合宿の一つとして実施される。

2 合宿期間

平成 30 年 4 月 9 日（月）～28 日（土） 20 日間

3 練習拠点

城崎ボートセンター、および円山川水域〔円山川城崎漕艇場～豊岡大橋付近(約 10km 区間)〕



昨年の合宿の様子



No.12	スポーツによる大交流を推進 ～円山川運動公園の移転整備～	30年度 予算額	516,085 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国土交通省の円山川水系河川整備計画（遊水地化）の推進に伴い、同計画地内にある現「豊岡市立円山川運動公園」を土渕から下鶴井に移転する。

名称を「豊岡市立玄武洞スポーツ公園」とし、現施設と同様に少年野球、少年サッカー、ソフトボール等が可能な多目的グラウンド4面を確保し、スポーツによる大交流の推進を図る。

2 事業内容

(1) 内容

- ① 多目的グラウンド（少年野球又はサッカー4面）、多目的広場
- ② 駐車場（駐車台数 162 台）
- ③ 管理棟等 A=259.2 m²（木造瓦葺き平屋建）及び便所棟の建築
- ④ 1旧管理棟等（A=245.955 m²）の取り壊し
- ⑤ 進入道路（L=150m、W=6.5m）

(2) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,516,785千円（移転補償金等）

(3) 完成予定

平成30年7月末

3 事業期間

平成 25 年度～平成 30 年度

4 事業主体

豊岡市

5 予算額

516,085千円

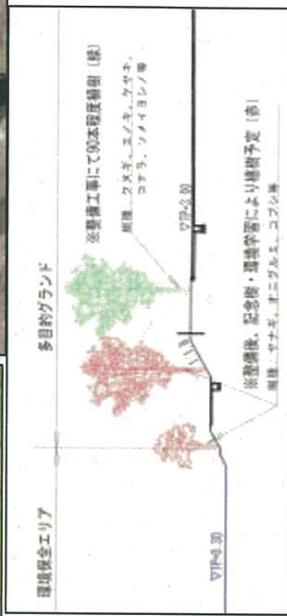
(1) 内訳

- ① 運動公園整備工事等 514,349千円
- ② 事務費等 1,736千円

円山川運動公園移転整備事業 計画平面図

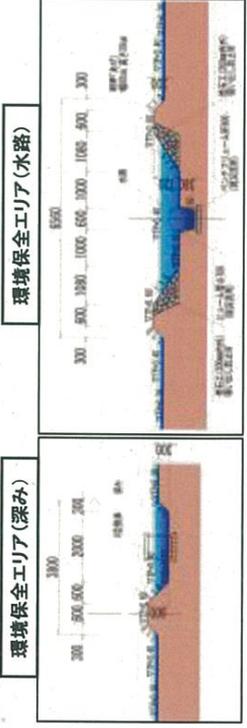
施設の概要

- 開発区域面積：約9.17ha
 - 多目的グラウンド 3.86ha
 - 多目的広場 0.57ha
 - 駐車場・駐輪場 0.58ha
 - 環境保全エリア 1.19ha
 - 調整池 0.68ha
 - その他（緑地帯・法面等） 1.41ha
- 開発関連区域面積：約0.43ha
 - 進入路・仮体すり付け盛土
- 内容
 - グラウンド 少年サッカー又は少年野球 4面
 - 駐車場 162台
 - 管理棟 木造・瓦葺・平屋建
 - A=259m² 太陽光設備 35kw^h
- 今後のスケジュール
 - 平成29年1月：着工～平成30年7月：竣工予定



植栽予定樹種

ソメイヨシノ	ケヤキ	エノキ	コナラ	クスギ
--------	-----	-----	-----	-----



No. 13	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまちへ ～高齢者福祉施策の充実～	30年度 予算額	19,030 千円	新規 拡大 継続
--------	-------------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

高齢者が地域でいきいきと暮らせるよう、高齢者と地域との日常的なつながりの強化や健康の維持増進を図る。

2 事業内容

(1) 内 容

① ふれあいいきいきサロン補助金（2,600千円）

高齢者が地域住民とつながれる場所であるサロンの拡大を図るため、豊岡市社会福祉協議会が実施するサロン助成が終了したサロンの運営費を補助する。



ア 補助金交付団体等

サロン実施団体（市 → 豊岡市社会福祉協議会 → 実施団体）

イ 補助金額

行政区単位で実施するサロン

1箇所 年額2万円

（区内1箇所分に限る。）

地域コミュニティ組織が実施するサロン

1箇所 年額4万円

② 玄さん元気教室奨励金（5,250千円）

高齢者が気軽に参加でき、健康の維持増進の効果が実証されている住民主体の健康運動教室「玄さん元気教室」の拡大を図るため奨励金を交付する。



ア 奨励金交付団体等

区、地域コミュニティ組織（市 → 区・地域コミュニティ組織）

イ 奨励金額

1箇所 年額3万円（行政区で実施する教室は、区内1箇所分に限る。）

③ 高齢者安心・見守り活動奨励金（11,180千円）

高齢者の安心・安全の確保、孤立化防止・社会参加を図るため、一人暮らし高齢者等への定期的な見守り訪問活動を促進するため奨励金を交付する。

ア 奨励金交付団体等

区（市 → 区）

イ 奨励金額

区の区分 (75歳以上の高齢者数)	奨励金額
24人以下の区	2万円
25～49人の区	2万5千円
50～99人の区	4万5千円
100～149人の区	8万5千円
150人以上の区	12万5千円

3 予算額

19,030千円

担当課名【高年介護課】0796-24-2401

【健康増進課】0796-24-1127

No. 14	歩いて暮らすまちづくりの推進 ～健康ポイント制度～	30年度 予算額	9,050 千円	新規 拡大 継続
--------	------------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市では健康づくりの基本を「歩く」とし、企業“歩キング”、玄さん元気教室、健康ポイント制度等の各種健康施策を推進している。

このうち、平成23年にスタートした「健康ポイント制度」は、日々の健康づくりをポイント化し、貯まったポイントで小中学校等への寄付や運動・温泉施設利用券と交換ができるもので、現在は約5,600人が登録している。

しかしながら、参加申請・ポイント交換手続きが煩雑なこと、高齢者にとってポイント手帳の記入が困難なこと、制度開始から6年が経過し新鮮味が薄れてきたことから、実質の参加者は約1,500人に低迷している。

そのため、ポイント記入様式・手続の簡略化、簡易的なスマホアプリシステムの導入により参加者の拡大を図る。

2 事業内容（健康ポイント制度）

(1) 主な内容

- ① ポイント記入様式・手続の簡略化、取組期間の短縮（1年→半年更新）
- ② 歩数を自動管理し、ポイントとして寄付できる簡易的なスマホアプリの導入

(2) 事業主体

豊岡市

(3) 参加者及び事業費見込み

年度	平成30年度	平成32年度
参加者見込み	1,930人	2,700人
事業費 〃	9,050千円 (うち3,240千円はアプリ導入経費)	6,824千円

3 30年度予算（健康ポイント制度）

(1) 予算額

9,050千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）

(2) 実施時期

- ① 記入様式・手続の簡略化：平成30年5月
- ② 簡易的なスマホアプリ導入：平成30年10月



(3) 主な事業内容

簡易的なスマホアプリを導入し、歩数の自動管理や参加登録からポイント寄付まで全てをスマホで操作可能とすることで、学校PTAや企業“歩キング”等の若年層（働く世代）の参加拡大を図る。

担当課名【健康増進課】0796-24-1127

No. 15	さらなる大交流の実現へ ～観光の振興～	30年度 予算額	103,291 千円	新規 拡大 継続
--------	--------------------------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

交流人口の拡大を図る大交流実現のため、観光誘客の促進、市内周遊拡大のための二次交通の充実、様々な媒体を活用した効果的な広告宣伝や情報発信、各種メディア・旅行エージェント等へのアプローチ、地域の特色を生かした集客イベントへの支援などを行う。

2 全体の事業内容

(1) 主な内容

① 国内誘客促進事業 319千円

旅行エージェント、旅行関連団体等への営業活動を行い、旅行商品の造成・新規開拓、教育旅行等の誘致による誘客拡大を図る。

② カーシェアリング社会実証実験事業 5,218千円

自動車保有率の高い本市のような地方都市におけるカーシェアリング事業の成立性を検証するため、豊岡駅前、市役所、城崎温泉駅周辺を拠点に、タイムズ24株の運用オペレーションによるカーシェアリング事業を展開する。

③ 観光協会等運営支援事業 55,457千円

各観光協会及び豊岡ツーリズム協議会の運営支援を行うとともに、相互連携の推進やさらなる誘客促進を図るための調査研究事業を行う。

また、観光を学ぶ学生を対象としたインターンシップ事業やクルーズ客船「にっぽん丸」の歓迎式典、市民を対象とした船内見学会などを行う。



クルーズ客船「にっぽん丸」

④ 地域イベント支援事業 11,670千円

各地域で実施される観光客集客イベントを支援し、誘客拡大を図る。

豊岡街歩き、北前まつり、竹野カニカーニバル、竹野浜オープンウォータースイミング大会、たけの海上花火大会、兵庫・神鍋高原ジオ・ウォーク、神鍋火山まつり、出石お城まつり、出石藩きもの祭り

⑤ 観光パンフレット制作事業 307千円

観光ガイドマップをリニューアルする。

- ⑥ 日本海縦断観光ルート形成事業【新規】 1,886千円
観光による交流人口を増やし、日本海沿線の経済発展を目指すため、新潟市、福井県敦賀市、京都府舞鶴市、本市の4市とWILLER株式会社が発起人となり協議会を設立し、日本海沿線を縦断的に移動する旅行者を創出するためのプラットフォーム構築に取り組む。
- ⑦ 閑散期団体誘客拡大事業【新規】11,000千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）
観光需要が低迷する閑散期（4月～6月、9月及び10月）の宿泊者数拡大を図るため、団体客を中心とした誘客の促進を図る。（債務負担行為）
- ⑧ 永楽館での演劇上映を用いた出石地域活性化事業【新規】 1,400千円
観光客の滞在時間延長を目的に、永楽館で定期的に短編演劇を上映し、新たな出石地域での観光素材となり得るかを検証する。

No.16	出石地域の景観形成と安全確保へ ～出石地区無電柱化整備～	30年度 予算額	8,000 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div> 拡大 継続
-------	----------------------------------------	-------------	----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

八木町線外2路線は、伝統的建造物群保存地区内の幹線道路であるが、道路上に張りめぐらされた電線類により、美しいまちなみの形成及び観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。

この課題を解決し、「景観形成・安全確保・防災」の観点から、出石地区の無電柱化を検討する。

2 事業内容

(1) 内 容

路線測量（事業化検討のため）

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

8,000千円

(2) 事業内容

路線測量 L=660m

市道八木町線 L=450m

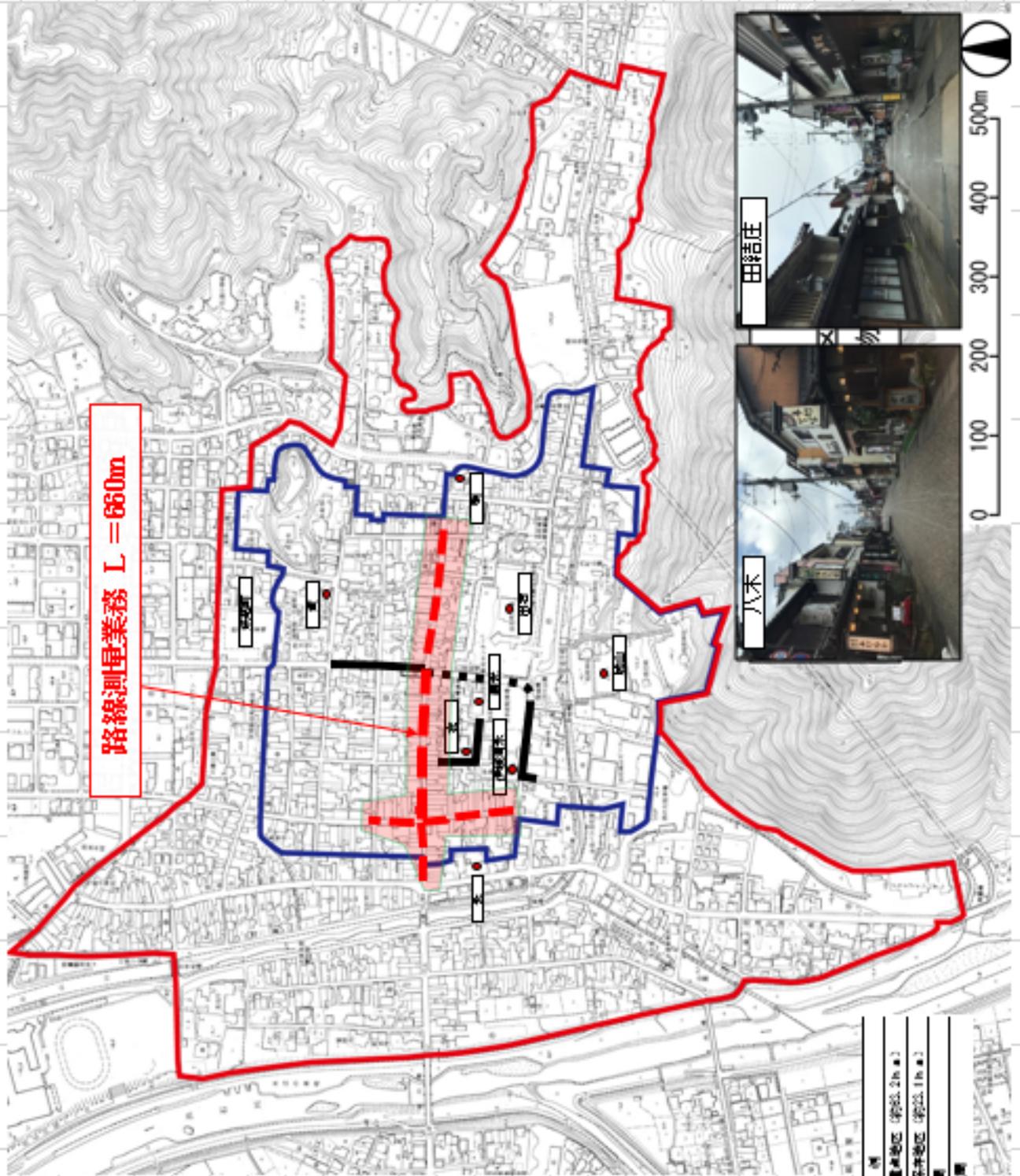
田結庄線 L= 80m

田結庄内町線 L=130m



出石のまちなみ

出石地区無電柱化整備事業



路線測量業務 L = 660m



凡 例	
	出石地区無電柱化整備事業地区 (約21ha)
	出石地区無電柱化整備事業地区 (約11ha)
	無電柱化整備事業地区
	測量区画

No.17	女性に選ばれるまちへ ～子育て中の女性の就労促進～	30年度 予算額	4,548 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> 拡大 継続
-------	-------------------------------------	-------------	----------	-----------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

保育士を確保し、保育所の受入体制の充実を図るとともに、子育て中の女性が働きたい事業所、働きやすい勤務形態等を増やすことにより、子育て中の女性の就労を促進する。

2 事業内容

(1) 女性の就労支援（保育士資格を持つ人と保育所とのマッチングを含む）

- ・ 未就業中の女性の中から、保育士資格を有する人を掘り起こし、保育士不足に悩む保育所とのマッチングを図る。併せて、子育てをしながらの短時間勤務又は在宅勤務、復職の支援を行う。

保育士確保

 ⇒ 保育所受入人数の増加 ⇒ 女性の就労機会拡大

- ・ 「保育所等の働く魅力向上支援事業（こども育成課）」により、保育士の短時間勤務や在宅勤務、IT導入等による業務の効率化、残業の削減等をモデル園で試行する。この結果、保育所の業務改善が進み、働きやすい環境整備が推進されていることを伝え、保育士の確保に繋げる。
- ・ 適職診断ワークショップ（特技、資格等を確認し、スキルが生かせる職場とのマッチング）
- ・ 就労意欲醸成のための「働く」を考えるセミナー

(2) 企業を対象としたセミナーの開催

- ・ 未就業中の主婦層等が働きやすい少日数・短時間勤務の導入セミナー
- ・ 従業員満足度向上セミナー

(3) 企業と非労働者（主に未就業中の主婦層）とのマッチングイベントの開催

- ・ 未就業中の主婦層等が働きやすい勤務体系等を導入した企業と、働きたい市民とのマッチングイベントを開催

3 事業期間

平成 28 年度～

4 事業主体

豊岡市

5 予算額（補助率・負担率等）

4,548 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

No.18	保育士と保育の受け皿確保 ～待機児童解消対策の検討～	30年度 予算額	9,175 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> 拡大 継続
-------	--------------------------------------	-------------	----------	-----------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

保育ニーズの高まりにより待機児童が増加している中、平成32年度から実施される予定である3～5歳児の幼児教育無償化（5歳児の無償化は平成31年度から先行実施予定）により、さらに大幅に保育の需要が増加することが見込まれることから、保育士等の確保対策などを早急に検討し、待機児童解消を推進する。

2 事業内容

(1) 内 容

ア 保育士等確保推進事業

保育士等の確保を推進するための業務改善を図り、保育所等を「働きやすい職場」、「働きたい職場」に変革するため、モデル園において改善施策の試行を行い、その検証結果を基に市内全園に業務改善を拡充させる。（モデル園：2園（私立園含む））

モデル園での主な検証内容（検証期間：平成30～31年度）

- (ア) 業務の効率化（ICT活用、事務のシステム化等）による残業の削減
- (イ) 質の高い幼児教育・保育の展開と業務の効率化の両立を検証するためのカンファレンス
- (ウ) 短時間勤務者の受入れによるワークシェア
- (エ) 在宅勤務の可能性の検証（特に、育休中、子育て中の保育士）
- (オ) 勤怠管理の徹底による配置人数の適正化

イ 必要な保育スペースの確保方策の検討

検討の結果、必要となる事業については、各担当課で実施する。

ウ 保護者のニーズ調査（アンケート調査）の実施

エ 就学前施設のあり方の検討

受け皿の確保や質の高い幼児教育・保育の実践強化のため、幼児教育無償化の制度設計が判明した時点で、保護者アンケートの分析値に注視しながら、中長期的ビジョンを策定する。

(2) 事業期間 平成30年度～平成32年度

(3) 事業主体 豊岡市

(4) 全体事業費 24,945千円



3 30年度予算

(1) 予算額 9,175千円（ひょうご地域創生交付金 1/2）

事業内容

- ① 保育士等確保推進事業（業務委託料、事務費）
- ② 保護者意識アンケート調査（業務委託料）
- ③ 就学前施設のあり方の検討（事務費）



4 その他参考事項（保育士等確保推進事業の内容）

(1) モデル園事業の主な内容

- ① 業務の効率化施策の検証（ICTの活用、事務のシステム化等）
- ② 短時間勤務者の受入れによるワークシェアの検証
- ③ 配置人数と就労時間の適正化の検証
- ③ 質の高い幼児教育・保育の展開と両立する業務効率化施策の検証

No.19	豊岡の宝物を見に来てください ～歴史博物館リニューアル～	30年度 予算額	26,307 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> 拡大 継続
-------	----------------------------------------	-------------	-----------	-----------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

市内の歴史・文化財に関する史料を収集、保存、展示活用して、ふるさと教育・文化の発展に博物館が寄与するため、市民が親しみを持ち、来館しやすい施設にする。



2 事業内容

(1) 内 容

「但馬国府・国分寺館」のテーマ展示から、ふるさと「豊岡の宝もの」を楽しみながら伝える「豊岡市立歴史博物館」としての充実を図る。

(2) 事業期間

平成30年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 30年度予算

(1) 予算額

26,307千円

（合併特例債 24,800千円）



総合学習室イメージ

(2) 事業内容

- ① これまでの但馬国府・国分寺をメインとするテーマ館から、市の成り立ちを学習できるわかりやすく、親しみやすい展示にリニューアルする。
- ② 多彩な事業を実施できるよう総合学習室を整備する。
- ③ 日高庁舎と分散していた事務室を集約することとし、館内に新たな事務室を設け、文化財にかかる職員と業務を集中させ、市民サービスの向上を図る。
- ④ 業務の効率化と通信費の軽減を図るため、内線電話新設工事と中庭漏水対策修繕を行う。

No.20	学校における働き方改革を推進 ～校務支援システムの導入～	30年度 予算額	43,080 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> 拡大 継続
-------	-----------------------------------------------	-------------	-----------	-----------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

教職員の職務については、時間的、精神的負担の増大が課題となり、教育の質の確保・向上の観点からも、「学校における働き方改革」を早急に進めていく必要がある。

豊岡市においては策定した『「学校における働き方改革」推進方針』に基づき、業務改善を推進するため校務支援システムを導入し、業務の効率化と教育の質の向上を図る。

2 事業内容

(1) 内 容

豊岡市立のすべての小中学校に成績処理、出欠管理、保健管理、指導要録、学籍関係などの機能を有する「統合型校務支援システム」の導入を行う。

(2) 事業期間

平成30年度～平成35年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

59,693千円

導入経費 43,080千円（初年度）

保守管理経費 16,613千円（平成31年度から5年間の総額）

3 30年度予算

(1) 予算額

43,080千円

(2) 事業内容

統合型校務支援システムの導入

4 その他参考事項

統合型校務支援システムでは、児童、生徒に関して入力したデータを成績処理、出欠管理など複数の機能や帳票に連携することが可能で、これにより出席簿や通知表・指導要録等の帳票作成にかかる事務の軽減や、校務の効率化が図れる。

No.21	地域の特色を生かしまちを活性化 ～城崎振興局の取組み～	30年度 予算額	12,960 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">拡大</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">継続</div>
-------	----------------------------------------------	-------------	-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

城崎地域では、インバウンド効果で年間を通じて安定した宿泊者数が見込めるようになりつつある。引き続き、夏の風物詩として定着している城崎温泉夢花火事業による夏期の平日の観光客増加の取組みを支援する。

また、健全性の低下が見られる大谿川沿いの柳・桜を剪定、植替更新等を実施するとともに、太鼓橋の表面の劣化が進行しているため計画的に補修し、城崎温泉の代表的景観の保全を図る。



2 30年度予算

(1) 予算額

12,960 千円

(2) 事業内容

① 城崎振興局プロジェクト事業

ア 城崎温泉夢花火事業（継続）

事業内容：夏期（夏休み期間中の平日）の花火打上げに対する支援

事業費：上限6,000千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：城崎温泉観光協会

イ 柳・桜並木整備事業（継続）

事業内容：樹木の健全な育成を図るため、劣勢木等の剪定、伐採、植替え等を実施する。

事業費：2,960 千円

事業主体：豊岡市

ウ 太鼓橋美装化事業（新規）

事業内容：登録有形文化財である太鼓橋の表面モルタルに亀裂、剥落が発生しているため、美装化工事を実施する。

事業費：4,000 千円

事業主体：豊岡市

No.22	地域の特色を生かしまちを活性化 ～竹野振興局の取組み～	30年度 予算額	8,594 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡大</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">継続</div>
-------	---------------------------------------	-------------	----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

竹野振興局では「竹野の海・山・川と共生して暮らす若者が増えている」を戦略目的とした、地域の情報発信や地域の特色を活かした事業を推進し、人口減少の緩和と地域振興を図る。

2 30年度予算

(1) 予算額

8,594千円

(2) 事業内容

① 振興局プロジェクト事業

ア 地域情報発信事業

事業内容：マスコミ等への情報提供や情報発信に対する支援

事業費：800千円

事業主体：たけの観光協会

イ 三原谷の川の風まつり事業

事業内容：芸術家や映像作家、音楽家によるイベントへの支援

事業費：919千円

事業主体：三原谷の川の風まつり実行委員会

② 竹野北前館管理

事業内容：エレベーター及び貯湯槽補強材の
修繕、避難口の改善等

事業費：3,191千円

事業主体：豊岡市



③ 川湊再生プロジェクト事業

事業内容：わらび座による「北前ザンブリコ」を竹野中学校で公演

事業費：3,684千円

事業主体：豊岡市

No.23	地域の特色を生かしまちを活性化 ～日高振興局の取組み～	30年度 予算額	8,248 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高で暮らす若者の増加を目指し、空き民宿等の活用、神鍋溶岩流を活用した地域振興、先輩に学ぶ授業等の振興局プロジェクト、観光事業等により雇用の創出、移住・定住の促進、交流人口の拡大を図る。

2 30年度予算

(1) 予算額 8,248千円

(2) 事業内容

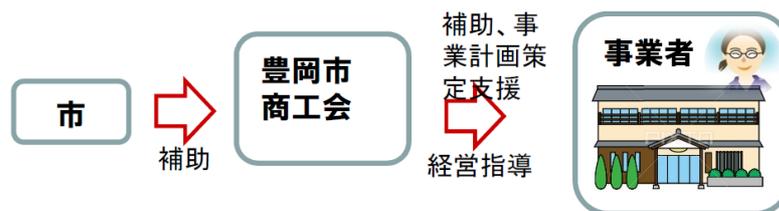
① 振興局プロジェクト事業 3,621千円（3事業）

ア 空き民宿等活用整備事業（3,000千円）（継続）

神鍋地域の空き民宿等を宿泊施設や飲食店等に活用する事業者に対して、予算の範囲内で店舗改修費の一部を助成する。

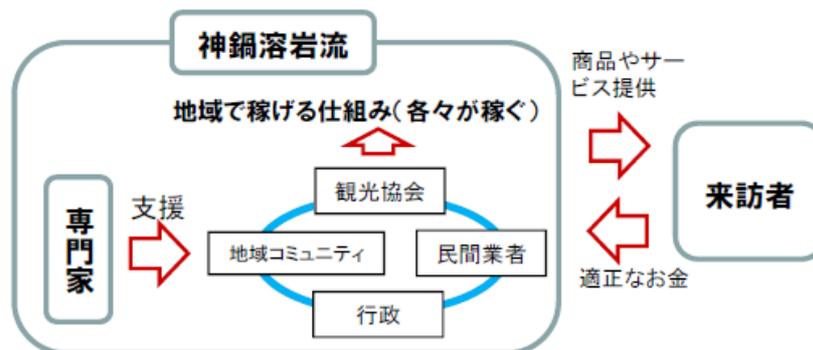
助成額：上限1,000千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：豊岡市



イ 神鍋溶岩流活用地域振興プロジェクト事業（541千円）

神鍋溶岩流における「受入れ環境・体制」、「魅力あるコース・ルート」、多様なサービス提供、「プロモーション」といったテーマを実現する戦略プロジェクトを実行する。



(ア) 溶岩流散策マップ等整備事業（345千円）（新規）

溶岩流散策マップづくり等の活動に対して支援する。

助成額：上限345千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：溶岩流活用地域振興プロジェクト会議

（事務局：日高振興局）

(イ) 溶岩流活用地域振興プロジェクト会議等運営事業（196千円）（継続）

戦略プロジェクトの実行及び進行管理、見直し検討作業について、

専門家を交え検討する。

事業主体：豊岡市

ウ 日高地域の先輩に学ぶ授業（80千円）（継続）

日高地域などで仕事などに活躍している若手が講師となって、中学生（日高東・西中学校）に対して生き方や考え方を伝える授業を実施する。

事業主体：豊岡市



② 農業振興事業費 530千円

ア 殿食材供給施設（殿さんそば）食器洗浄機入替

※修繕費1,059千円のうち指定管理者負担1/2

③ 観光事業費 1,000千円

ア 日高夏まつり事業

助成額：上限1,000千円（対象経費の1/2以内）

事業主体：日高夏まつり実行委員会

④ 道の駅「神鍋高原」管理費 331千円

高圧受電設備ヒューズ取替修繕

⑤ 湯の原温泉オートキャンプ場管理費 2,230千円

汚水揚水ポンプ入替修繕

⑥ Weぶらざ管理費 536千円

江原駅西街路灯LED電球取替

No.24	地域の特色を生かしまちを活性化 ～出石振興局の取り組み～	30年度 予算額	13,719 千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡大</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">継続</div>
-------	-----------------------------------------------	-------------	-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1 事業目的（趣旨）

出石地域では、まちの賑わいと活性化を目指し、一昨年から継続して実施している出石焼の宣伝事業及び空き家の所有者に賃貸・売却の意向調査を実施する。

また、新たな取り組みとして、大交流課が実施した観光動態見える化事業のビッグデータをもとに新たな観光客層の開拓事業を地域をあげて実施する。

加えて、観光・健康増進の拠点施設である出石温泉館「乙女の湯」の改修を行い、安全で快適な環境を確保することにより利用者の拡大を図る。

2 30年度予算

(1) 予算額 13,719千円

(2) 事業内容

① 出石振興局プロジェクト事業

ア 出石焼宣伝活動事業

事業内容：東京・青山スクエアで年間を通して常設展示を行う。

また、関東圏において新規販路を開拓すべくキャンペーンを行う。

事業費：531千円（補助率1/2）

事業主体：出石焼陶友会

イ 移住定住者向け住宅店舗促進事業

事業内容：市街地の空き家の意向調査等を行い、豊岡市ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」へ掲載、情報提供を行い、移住定住に繋げる。

事業費：458千円（補助率10/10）

事業主体：NPO法人いずし町家再生プロジェクトA

ウ 誘客促進事業（新たな客層開拓事業）

事業内容：これまで50-70代男性が客層の中心であった出石を20-40代女性をターゲットに事業を展開していく。若い女性に人気の「クリーマ・クラフト・キャラバン」を誘致し、参加者が継続して出石を訪れる仕組みづくりを目指す。

事業費：1,000千円（補助率2/3）

事業主体：すいっち出石

② 出石温泉館乙女の湯改修事業

事業内容：浴槽漏水、結露対策等

事業費：11,730千円

事業主体：豊岡市



No.25	芸術文化でイメージアップ ～永楽館歌舞伎～	30度 予算額	73,044 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------------------------------	------------	-----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

平成20年に「出石永楽館」の復原後、この歴史的な芝居小屋が持つ価値を發揮できる活用策として、歌舞伎公演を継続して開催している。本年度も文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として「第11回永楽館歌舞伎」を開催する。

2 事業内容

(1) 公演期間（予定）

平成30年10月18日（木）～24日（水） 7日間

(2) 公演回数

13回公演

(3) 会場

豊岡市立出石永楽館

(4) 内容

片岡愛之助さんを座頭とする歌舞伎の公演。

(5) 料金

一般12,000円、学生3,000円^{※注}（全席指定席）

※注 学生料金の対象者は、市内在住または通学の
小・中・高校の児童・生徒。



第10回公演 写真提供：松竹(株)

3 事業期間

平成20年度～

4 事業主体

豊岡市 永楽館歌舞伎実行委員会

5 予算額（補助率・負担率等）

73,044千円



満員の客席

No.26	地域の特色を生かしまちを活性化 ～但東振興局の取組み～	30年度 予算額	15,728 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市の中でも特に人口減少が厳しい但東地域では、但東振興局プロジェクト事業として但東婚活応援隊による未婚者の情報収集を行い、婚活活動を促すとともに、婚活イベントを実施し、未婚者の成婚を推進する。

さらに、但東地域に若い人の移住を促進するため、若い家族に住居を賃貸し、住む場所を提供するとともに、交流人口拡大のため、教育民泊の推進を図る。また、シルク温泉やまびこ、たんたん温泉の改修を行う。

2 30年度予算

(1) 予算額

15,728千円

(2) 事業内容

① 但東振興局プロジェクト事業

ア 但東婚活応援プロジェクト事業

事業内容：但東地域未婚者情報の収集及び未婚者の婚活イベント参加促進
但東地域婚活応援講演会の開催

事業費：182千円

事業主体：豊岡市

イ 但東地域婚活イベント事業

事業内容：但東地域の未婚者の若者に出会いの機会を提供するイベント開催

事業費：953千円

委託先：しゃつても但東（但東地域若者のネットワークグループ）

ウ 移住促進住宅運営事業

事業内容：移住促進住宅の維持管理

事業費：494千円

事業主体：豊岡市

エ 教育民泊推進事業

事業内容：交流人口の拡大や定住人口の増加、農家の副収入の向上を図るため、
教育民泊の取組みへ支援を行い、体験教育旅行を推進する。

事業費：4,298千円

事業主体：豊岡市、豊岡市いのちの教育推進協議会

② シルク温泉の改修

事業内容：経営安定のための施設設備改修（山露天ろ過循環ポンプ改修等）

事業費：7,022千円

③ たんたん温泉の改修

事業内容：経営改善への支援と老朽化による施設改修

事業費：2,779千円

担当課名【但東振興局地域振興課】0796-21-9032